

岡鹿門 徳松 儒者。天保四年十一月、二月陸奥國仙臺生れ、大正二年二月十八日歿（二八三—一九二三）。講千徳、字子文・天爵・振衣、幼名修、通稱松尾輔・敬介・敬助・敬輔。別號振衣山人、鹿門道人、岡棟。藩費養賢堂及び昌平坂學問所に學ぶ。大坂で同窓と開塾し會樓調を主唱。戊辰戰では投獄に遭ふ。明治四年東京府學教授、次で東京圖書館館長等歴任。

著書 『會樓紀事』全四冊（明治十五年八月龍聖堂）、『訂正會樓紀事補遺』全二冊（明治十七年五月鳳文館）、『武家職官考』全一冊（合著・岡岡良綱校、明治二十二年七月二十七日水本氏藏、青山清吉刊）、『鹽尻松勝概』全一冊（岡澤編、明治二十五年四月六日銀齋齋藏梓）、『山寺攬勝志』（明治三十四年十一月三白山形・保位會）等。